

## 第1日目 5月24日(土) A会場 (G101)

---

10:00	A-1-1	分科会 「変容する『健康』概念と人類学 - 保健政策・医療専門職・生活者の狭間で - 」 代表者 :星野 晋 (山口大学)		
	報告1	健康日本21と健康宇部21	星野 晋	山口大学
	報告2	日本における『健康』概念の成立と現在 - 特に健康と運動の関係をめぐって -	沖田 一彦	広島県立保健福祉大学
	報告3	変容する『健康』 - 国際保健政策と健康観 -	伊達 潤子	山口大学
	報告4	『健康人類学』のための理論的考察	小田 博志	北海道大学

12:00終了

### 昼食

---

13:00	A-1-2	分科会 「文化の窮状」の未来」 代表者 :慶田 勝彦 (熊本大学)		
	報告1	どうして、いまごろ『文化の窮状』か?	太田 好信	九州大学
	報告2	ニューカレドニアとクリフォード	江戸 淳子	杏林大学
	報告3	水子供養言説を解体 (アンメイク)する - 第一世界のフェミニスト宗教学批判 -	川橋 範子	名古屋工業大学
	報告4	転置するフィールドワークの口頭性 - マッシュピー裁判から考える -	慶田 勝彦	熊本大学
	報告5	芸術・文化の殿堂からコンタクトゾーンへ - 『プリティヴィズム』展をめぐ る議論と 博物館・美術館のその後 -	吉田 憲司	国立民族学博物館
		コメンテーター	砂野 幸稔	熊本県立大学
		コメンテーター	星埜 守之	白百合女子大学

15:10終了

---

15:15	A-1-3	分科会 「アジアにおける fertility/ reproductionの文化的意味づけとその変化」 代表者 :波平 恵美子 (お茶の水女子大学)		
	報告1	日本におけるfertility/reproductionの文化的意味づけとその変化	波平 恵美子	お茶の水女子大学
	報告2	韓国の出生動向に関する言説にみられるパラドックス - 出生時性比の男 児偏向と少子化の問題をめぐって -	仲川 裕里	専修大学
	報告3	ジャワ農村におけるfertilityとreproduction	松岡 悦子	旭川医科大学
	報告4	タイ北部における若年女性のセクシュアル・ヘルスとその文化的意味づけ	道信 良子	札幌医科大学
		コメンテーター	中谷 文美	岡山大学

17:15終了



## 第1日目 5月24日(土) B会場 (G102)

---

10:00	B-1-1	血の質と肌の色 - 南米スリナム社会におけるクレオール人と混血」の 関係 -	岩田 晋典	立教大学
10:25	B-1-2	衣(ころも)が表現する民族の意識 - グアテマラ高地先住民の事例より -	本谷 裕子	慶應義塾大学
10:50	B-1-3	貧困研究の視座 - チリ・サンチャゴ都市貧困層の暮らしから -	内藤 順子	九州大学
11:15	B-1-4	家を建てる女たち - メキシコ・ワステカ農村における出稼ぎとジェンダー -	山本 昭代	東京外国語大学
11:40	B-1-5	20世紀キューバにおける婚姻法とその意味の変遷	田沼 幸子	大阪大学

---

### 昼食

---

13:00	B-1-6	「汚れた戦争」をめぐる記憶の政治学 - バルガス・リョサの調査と先住民族 のテロ経験 -	細谷 広美	神戸大学
13:25	B-1-7	「情報」としての「インディアン」	渥美 一弥	一橋大学
13:50	B-1-8	ニスガ自治政府に見られる文化的背景とカナダ型多文化主義の課題	山田 亨	筑波大学
14:15	B-1-9	カナダ・北西海岸先住民社会における漁業の経済的位置づけ - 現代の クワクワカクウの事例から -	立川 陽仁	日本学術振興会特 別研究員
14:40	B-1-10	カナダ極北地域におけるシロイルカ資源の共同管理について	岸上 伸啓	国立民族学博物館

---

15:15 B-1-11 分科会 「帝国医療の逆襲 - 21世紀ポストコロニーの医療を考える - 」  
代表者:奥野 克巳 (桜美林大学)

報告1	趣旨説明	奥野 克巳	桜美林大学
報告2	英米における近年のアフリカ植民地医療の歴史研究 - フーコーの影響と 医療史における人類学研究の可能性 -	森口 岳	一橋大学
報告3	熱帯医学と人種主義	山崎 剛	南山大学
報告4	近代日本における未完のプロジェクト:帝国医療	池田 光穂	熊本大学
	コメンテーター	関 一敏	九州大学

17:15終了

---

## 第1日目 5月24日(土) C会場(G103)

---

10:00	C-1-1	インドネシア、ジャワにおける環境問題とそれに対する取り組み	青木 武信	千葉大学
10:25	C-1-2	手仕事の技はいかに継承され、価値付与されるか - インドネシアパティック業と消費社会 -	関本 照夫	東京大学
10:50	C-1-3	現代インドネシア「バリ」社会における「バリ文化」の表象と消費 - 文化のインヴォリューションを超えて -	中野 麻衣子	一橋大学/日本学術振興会特別研究員
11:15	C-1-4	神のコトバを語る人々 - バリ島南東部 T慣習村の事例研究 -	大橋 亜由美	放送大学
11:40	C-1-5	ヴェトナム マー族の父系組織の弾力性	本多 守	東洋大学

---

### 昼食

---

13:00	C-1-6	ある開業助産婦のライフヒストリーにみる出産観と受胎調節観 - 変わりゆく医療技術と人口政策の中で -	伊賀 みどり	大阪大学
13:25	C-1-7	日本における授乳の人類学的研究(1) - 粉ミルクの普及をめぐる -	生野 恵理子	東洋大学
13:50	C-1-8	米軍男性と結婚した日本人妻達の9月11日 - 横須賀米海軍基地の事例から -	宮西 香穂里	京都大学
14:15	C-1-9	ジェンダー関係にみる権力ゲーム - 沖縄県・小浜島を事例に -	加賀谷 真梨	お茶の水女子大学
14:40	C-1-10	銀座ホステスクラブの民族誌的研究 - ホステスクラブの「もてなし」とその面白さ -	松田 さおり	名古屋大学
15:05	C-1-11	隘路を縫って生きる「主体」 - 植民地期台湾における処女会の女性たち -	宮崎 聖子	お茶の水女子大学
15:30	C-1-12	オキシモロニック・ワーク - バンコク中心部におけるバーガールたちの職業的現実 -	市野沢 潤平	東京大学
15:55	C-1-13	紛争時の性暴力とフェミニズム - 東ティモール騒乱における強制結婚と救援活動を事例として -	福武 慎太郎	上智大学
16:20	C-1-14	ジェンダーの境界域 - ポリネシア・サモアの男の女性(マン・ウーマン) -	山本 真鳥	法政大学

---

## 第1日目 5月24日(土) D会場 (G104)

---

10:00	D-1-1	シェアリング、ポトラッチ、アイデンティティ- グイッチン社会における食物分配と儀礼、アイデンティティの関係について -	井上 敏昭	城西国際大学
10:25	D-1-2	トレーディングカードゲームにみる贈与経済	今関 光雄	成城大学
10:50	D-1-3	開拓フロンティアの人類学 - 脱国営化をめぐるギクユ人入植社会の対応 -	石井 洋子	日本学術振興会
11:15	D-1-4	ギニアにおいて「歌う」という実践はどのように変化しているか? - グレオからアーティストへ -	鈴木 裕之	国士舘大学
11:40	D-1-5	寡婦相続 widow inheritance」の捉えかた - 人類学用語の問題点とケニア・ルオ社会の事例 -	椎野 若菜	日本学術振興会/ 東京都立大学

---

### 昼食

---

13:00	D-1-6	金銭の意味を変える頼母子講 - カメルーンの同郷者組織を事例に -	野元 美佐	名古屋大学
13:25	D-1-7	移民でもなく、「オリジナル」でもなく - アフリカ系オマーン人のアイデンティティおよびエスニシティに関する一考察 -	大川 真由子	東京都立大学
13:50	D-1-8	ナイジェリア・イボ社会におけるエスニシティと歴史認識 - 王制をめぐる新たな言説の生成 -	松本 尚之	東北大学
14:15	D-1-9	人びとの移動にともなう多層的農民社会の形成 - エチオピア西南部マロ(M alo)の事例から -	藤本 武	人間環境大学
14:40	D-1-10	少女の死 - エチオピア西南部農牧民ホールにおける女子「割礼」とイデオロギーの効果 -	宮脇 幸生	大阪府立大学
15:05	D-1-11	香がたすける性のいとなみ - 施術された性器と向きあうスーダン女性 -	縄田 浩志	京都大学
15:30	D-1-12	神々の「民主化」 - 西アフリカ・ベナン共和国における文化振興策を事例として -	田中 正隆	日本民族学会会員
15:55	D-1-13	在仏モロッコ移民の婚姻戦略	渋谷 努	東北学院大学
16:20	D-1-14	市場経済のなかの贈与と貨幣 - エチオピア西南部・コーヒー栽培農村の事例から -	松村 圭一郎	京都大学/日本学術振興会
16:45	D-1-15	イゲンベ社会におけるギチア口関係の過去と現在 - 東アフリカの血盟をめぐる歴史叙述についての方法論的検討 -	石田 慎一郎	東京都立大学

---

## 第1日目 5月24日(土) E会場 (J214)

---

10:00	E-1-1	労働におけるトランスカルチュラルイズム - ある欧系航空会社の日本人労働組合活動の事例から -	八巻 恵子	放送大学
10:25	E-1-2	シンガポール『多元種主義』の検討 - 団地住民の転居動態を通して -	鍋倉 聡	滋賀大学
10:50	E-1-3	ブラジル日系社会『コロナ』におけるエスニシティ - 『ニホンジン』であることをめぐって -	山ノ内 裕子	日本学術振興会特別研究員
11:15	E-1-4	在日ブラジル人のトランスナショナル・アイデンティティ戦略	拝野 寿美子	放送大学

---

### 昼食

---

13:00	E-1-6	家族の戦略としての移住とその変容 - パプアニューギニア・オーストラリア間の華人の移住を事例として -	市川 哲	立教大学
13:25	E-1-7	財神とムアンの神 - 雲南省徳宏タイ族の『漢化』について -	長谷 千代子	南山大学
13:50	E-1-8	殯葬改革に表出する『民俗』と『文明』 - 中国陝西省地方都市における公共墓地を例として -	田村 和彦	東京大学
14:15	E-1-9	戯曲学校における身体技法の習得過程の諸相 - 中国西安市の秦腔演劇のフィードバック事例から -	清水 拓野	東京大学
14:40	E-1-10	火葬された回族の共産党員 - 中国の葬儀改革とイスラーム系少数民族 -	澤井 充生	東京都立大学
15:05	E-1-11	大凉山彝族における祖先崇拜と社会組織	樊 秀麗	広島大学
15:30	E-1-12	風水師研究序説 - 西南中国トン族の事例から -	兼重 努	滋賀大学
15:55	E-1-13	自他の民族範疇をめぐる集団の配列 - 青海省河南蒙旗のケースから -	シンジルト	一橋大学
16:20	E-1-14	民国期中国地方社会における権力と秩序の動態	川口 幸大	東北大学
16:45	E-1-15	山を追われた人々 - 甘肅省肅南ユーク族自治県における移民政策と牧民 -	尾崎 孝宏	鹿児島大学

---

## 第1日目 5月24日(土) F会場 (J215)

---

10:00	F-1-1	少数民族の美術工芸品をめぐる法制度上の真贋 - ホピの銀細工を事例として -	伊藤 敦規	東京都立大学
10:25	F-1-2	芸術作品となった棺桶 - 人類学的芸術研究の試み -	祐川 良子	東京大学
10:50	F-1-3	道具としての楽譜 - 森田流能管の素人稽古と京都祇園祭船鉾囃子を例に -	井口 かをり	ケンブリッジ大学
11:15	F-1-4	日本の中のアジア、アジアの外の日本 - 『手仕事』をめぐる表象と消費 -	中谷 文美	岡山大学

---

### 昼食

---

13:00	F-1-6	チャレーとサラ - シャン仏教における在家知識人の役割 -	村上 忠良	宮崎公立大学
13:25	F-1-7	出家をめぐる功德の行方 - 東北タイ農村における仏教実践と社会関係 -	加藤 真理子	京都大学
13:50	F-1-8	仏教国におけるカトリック教徒 - 東南タイの事例を中心に -	原田 真理子	広島大学
14:15	F-1-9	東南アジア山地民キリスト教徒における救済モチーフと民族主義 - タイ国のラフの事例から -	片岡 樹	九州大学
14:40	F-1-10	タイ・マッサージ習熟過程における権威的知識の多様性	飯田 淳子	川崎医療福祉大学
15:05	F-1-11	黒タイの家譜と年代記について	櫻永 真佐夫	国立民族学博物館
15:30	F-1-12	『ラック・ムアン』派の霊媒集団 - 北タイ・チェンマイの精霊憑依 -	福浦 一男	京都大学
15:55	F-1-13	北タイ・ラフ族における民族(論)的状況	西本 陽一	金沢大学
16:20	F-1-14	南ラオス・ンゲの村における縁組と家の戦略	中田 友子	国立民族学博物館
16:45	F-1-15	現代カンボジア農村社会における仏教信仰の復興に関する一考察 - カンボジア仏教在来派の二つの実践をめぐる -	小林 知	京都大学

---

## 第2日目 5月25日(日) A会場 (G101)

---

- 9:40 A-2-1 分科会 「実社会の問題に提案する人類学」  
代表者 沼崎 一郎 (東北大学)
- 報告1 趣旨説明 波平 恵美子 お茶の水女子大学
- 報告2 日本の原子力エネルギー問題にまつわる提案 住原 則也 天理大学
- 報告3 生物医学技術の進展に人類学は何ができるか、何をなすべきか 柘植 あづみ 明治学院大学
- 報告4 「個人と国家政策」の連動関係と推移を描く - 見えてくる問題・黙過できない事柄 - 中山 まき子 鳴門教育大学
- 報告5 情報社会における文化人類学の役割 ジョン・ラッセル 岐阜大学
- 報告6 暴力被害者支援の「現場」で人類学してしまう時 - 比較文化的視点からの提案 - 沼崎 一郎 東北大学

11:40終了

---

昼食

---

12:30

総会

---

14:30終了

---

- 14:40 A-2-2 分科会 「概説書を通してみる戦後日本の民族学・文化人類学」  
代表者 岡田 浩樹 (神戸大学)
- 報告1 概説書を通してみる戦後日本の民族学・文化人類学 岡田 浩樹 神戸大学
- 報告2 教科書・概説書に関するプロジェクト基礎資料について 田口 理恵 東京大学
- 報告3 人類学テキストのデータベース化に関する試案と課題 川村 清志 神戸学院大学
- 報告4 教科書と講義 - シラバスの分析から - 五十嵐 真子 神戸学院大学
- 報告5 日本民俗学教科書との比較から 菊地 暁 京都大学
- コメンテーター 桑山 敬己 創価大学
- コメンテーター 波平 恵美子 お茶の水女子大学

16:50終了

---

## 第2日目 5月25日(日)B会場 (G102)

---

9:40	B-2-1	中央アジア 北部クルグズ (キルギス) 人農村のモスク開設 - イスラーム実践の動態に関する予備的報告 -	吉田 世津子	四国学院大学
10:05	B-2-2	儀礼から生成されるパフォーマンスへ - 南インド・ケーララ州のテイヤムの事例から -	古賀 万由里	日本学術振興会/ 慶応義塾大学
10:30	B-2-3	村落の空間認識に見る歴史と現在 - インド・ゴア州M村、あるヒンドゥー教徒の語りから -	松川 恭子	大阪大学
10:55	B-2-4	放牧テリトリーと共同放牧 - 東ネパールにおける羊の移動牧畜の事例から -	渡辺 和之	国立民族学博物館
11:20	B-2-5	寺院にできること - 日本とネパールの事例 -	ソバナ・バジュ ラチャリヤ	金沢大学

---

### 昼食

---

14:40	B-2-6	分科会 「会社文化の人類学」 代表者 :中牧 弘允 (国立民族学博物館)		
	報告1	会社文化の人類学 - 分科会のねらい -	中牧 弘允	国立民族学博物館
	報告2	日本における会社文化の人類学的研究にみられる特徴	住原 則也	天理大学
	報告3	現代日本における会社文化と男性の表象 - 日本における仕事人類学の貢献・共犯 批評 -	ロバーソン・ ジェームス	オックスフォード・ブ ルックス大学
	報告4	長崎屋における女性従業員の職場環境とバブル崩壊後の傾向	松永ルエラ	オックスフォード・ブ ルックス大学 / 上智大学
	報告5	台湾人の会長、日本人の社長、香港人の社員 - 香港京華山一の組織文化 -	王 向華	香港大学
		コメンテーター	前川 啓治	筑波大学

---

16:40終了

## 第2日目 5月25日(日)C会場(G103)

---

9:40	C-2-1	塚野鉦泉における特異的な飲泉方法がもつ意味	沖田 一彦	広島県立保健福祉大学
10:05	C-2-2	イエメン国サナアにおける身体認識と健康観の変容	伊達 潤子	山口大学
10:30	C-2-3	台湾シャーマンの民俗医療メカニズム - 霊魂信仰による治療手法を中心に -	王 貞月	西南学院大学
10:55	C-2-4	悲しみの隠喩 - マレーシアの民間医療に関する文化人類学的研究 -	板垣 明美	横浜市立大学
11:20	C-2-5	メキシコ、ユカタン・マヤの「伝統」医療 - 伝統の管理をめぐって -	吉田 栄人	東北大学

---

### 昼食

---

14:40	C-2-6	マオリ漁撈権・漁業権の回復に向けて - 1986年テ・ウエヒ裁判を中心に -	深山 直子	東京都立大学
15:05	C-2-7	パプアニューギニアにおける扶養費請求訴訟のジレンマ - マヌス州村落地域に生きる女性の実践 -	馬場 淳	東京都立大学
15:30	C-2-8	断片聴覚、ワントク・イデオロギー、ノスタルジア - パプアニューギニアの音楽聴取モデルからみたグローバリズム下の想像力 -	諏訪 淳一郎	島根県立大学
15:55	C-2-9	ニュージーランド社会人類学とマオリ - ハンソン問題の受容をめぐって -	伊藤 泰信	日本学術振興会特別研究員
16:20	C-2-10	続 現代アポリジニ女性の環境認知 - 先住民と開拓民の比較写真投影より -	中西 直和	沖縄アメリカン大学
16:45	C-2-11	ミクロネシア・ヤップ社会における三つの「伝統」概念	則竹 賢	大阪大学/日本学術振興会特別研究員

---

## 第2日目 5月25日(日) D会場 (G104)

---

9:40	D-2-1	解放後の韓国社会で伝統文化はいかに継承されていったか - 固城五広 大保存会を事例として -	高 正子	総合研究大学院 大学
10:05	D-2-2	韓国の臓器移植におけるキリスト教 - 家族と隣人愛 -	中村 八重	広島大学
10:30	D-2-3	韓国国立墓地における「英霊」の創造	池 映任	広島大学
10:55	D-2-4	夢を内面化する信仰・実践する信仰	岩谷 彩子	京都大学
11:20	D-2-5	「夢見ること」と「思い出すこと」	青木 恵理子	龍谷大学

---

### 昼食

---

14:40	D-2-6	観念領域と再生観 - 北部沖縄 備瀬の時間と空間に関連して -	中畑 充弘	明治大学
15:05	D-2-7	沖縄 読谷村の将来地域構想と風水	原 知章	静岡大学
15:30	D-2-8	沖縄のシャーマンはどのように神霊を見たのか - その精神医学的な説明 の 카테고리 - ミステイクについて -	泉水 英計	鈴鹿国際大学
15:55	D-2-9	風水ブームに見られる「正統」のコマースリング	鈴木 一馨	財団法人東方 研究会
16:20	D-2-10	モンゴル人の霊魂観と世界観について - ホルチンモンゴル人の事例と漢 族との比較から -	斉 穎賢	東洋大学
16:45	D-2-11	悪霊払いと癒しのメカニズム - 因果律からみた累 (かさね) 説話の再考 -	藤井 麻湖	国立民族学博物館 /大阪外国語大学

---

## 第2日目 5月25日(日) E会場 (J214)

---

9:40	E-2-1	実践と認識のクロスオーバー - 対抗資本主義」を巡る理論的帰結 -	織田 竜也	バルセロナ大学
10:05	E-2-2	エレクトラのパラドックスと文化相対主義	中川 敏	大阪大学
10:30	E-2-3	人の移動と地方文化の客体化 - ミクロネシア連邦の事例より -	駒井 洋子	成城大学
10:55	E-2-4	ハルビン市ユダヤ人コミュニティにおける日本占領体験	佐藤 泉	東洋学園大学
11:20	E-2-5	植民地主義と日本民族学 (11) GHQの人類学者達	中生 勝美	大阪市立大学

---

### 昼食

---

14:40	E-2-6	農家レストランの設立に見られる農村住民と新規流入者との関係性の形成	大友 和佳子	お茶の水女子大学
15:05	E-2-7	ロシア極東における高齢者の生活戦略 - 「少数民族村」の事例から -	百瀬 響	北海道教育大学
15:30	E-2-8	意図の語りと原因の語り- フランスにおける失業者の社会復帰支援の事例 -	中川 理	大阪大学
15:55	E-2-9	いかに自らを語るか - ホームレスの人生の物語 -	森田 良成	大阪大学
16:20	E-2-10	日本の過疎地域と地域活性化	田村 良子	明治大学
16:45	E-2-11	離島における人の移動 - 八丈島の移民の「語り」より -	対馬 秀子	放送大学

---

## 第2日目 5月25日(日) F会場 (J215)

---

9:40	F-2-1	スペイン・アンダルシアのアグロタウンにおける祝祭と共同性	塩見 千加子	関西外国語大学
10:05	F-2-2	教会アジール - ドイツにおける民間の難民庇護の一形態 -	小田 博志	北海道大学
10:30	F-2-3	神津島における民俗とキリスト教 - ジュリア祭に伴う変化に関する一考察 -	藤原 久仁子	お茶の水女子大学
10:55	F-2-4	葛藤するアイデンティティと人生における救済 - シンガポールのトバ・バタックキリスト教徒の事例から -	齋藤 千恵	南山大学
11:20	F-2-5	Local-Indonesian鳥獣虫 舟称や広域 INバナナ (13) - 称の縄文期登場と史実 ヤマ族の大舟 穂高連峰 観が日本祖語形成論に及ぼす意味 -	郭 安三	東京富士大学

---

### 昼食

---

14:40	F-2-6	葬儀における檀家「ドウギョ」の役割およびその変化 - 滋賀県野洲郡野洲町・富波甲地区における事例をもとにして -	仲江 暁子	お茶の水女子大学
15:05	F-2-7	資源化する死 - 現代日本の葬儀産業を事例として -	田中 大介	東京大学
15:30	F-2-8	現代」に生きること - 京都府・K区における葬送儀礼の変化と持続 -	西田 亜紀	総合研究大学院大学
15:55	F-2-9	災害と組織の人類学 - 阪神・淡路大震災時の救助活動 -	木村 周平	東京大学
16:20	F-2-10	介護保険制度導入による介護の意味づけの変化 - 第三者による家族関係への介入を通して -	藤田 美樹	お茶の水女子大学
16:45	F-2-11	障害者になる - 日本の障害児教育をめぐる組織、政策、実践からの一考察 -	猪瀬 浩平	東京大学

---